

協賛のご案内

一人ひとりが街の登場人物になる

COMMUNITY BOWLING PROJECT

多摩ボウリング プロジェクト

小学生から70代まで、7世代が1チーム。ボウリングでつなぐ 多世代コミュニティ。

人と企業、街をつなぐ

2026年9月

多摩市市制施行50周年記念市民事業実行委員会 TAMA-BASE

代表：瀧口 寿彦



事業概要

キズナリレー方式で競う、全17小学校区対抗の市民ボウリング大会

多摩市を舞台に「世代を超えたつながり」をボウリングという競技を通じて生み出す、地域活性化イベントです。

企業・市民・行政が一体となり、まちに活力と誇りをもたらします。

単なるスポーツイベントではなく、地域ブランディング・企業PR・人材交流を同時に実現する、新しい協賛モデルです。

開催時期

令和8年11月(第1回大会)

会場

永山コパボウル(多摩市永山)

対象

多摩市内全17小学校区の市民＋プロチーム

チーム編成

各校区・小学生～70代以上の7世代/計7名

参加規模

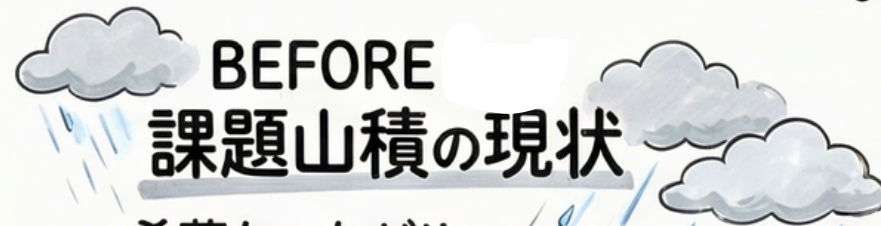
18チーム・126名 各市民が一堂に会する



なぜ、いま多摩市に必要なのか

地域を救う!?「多世代交流ボウリング・リーグ」構想

～投げて、笑って、顔見知りが増える街へ～



BEFORE 課題山積の現状

- 希薄なつながり：
隣人の顔が見えない、挨拶が減った街。



- シニアの孤立：
外出機会が減り、
会話不足による
フレイル(虚弱)の懸念。



- 放課後の居場所不足：
ゲーム時間が増加、
安全に遊べる場が
少ない子供たち。



THE BRIDGE 解決の架け橋



- 「全天候型」の安心感：
雨の日も雪の日も、
いつでも集まれる。



- 「会話」が生まれる構造：
投球を待つ間の自然なコミュニケーション。



- 「ハンデ」で誰もが主役：
年齢や性別に関係なく、
本気で競い合える。



AFTER 目指す未来

- 多世代の絆(ハイタッチ)：
「ナイスストライク!」の声かけで、
孫世代とシニアが自然に交流。



- 街の活気(企業・地域)：
商店街チーム vs 工場チームなど、
新たな交流が生まれる。



- 健康づくり(介護予防)：
楽しみながら体を動かし、
「社会的処方」の
拠点にもなる。



従来のスコアを競うボウリングから、多世代が力を合わせる「リレー方式」へ。

多世代リレー方式「つなく、一フレーム。」

～7世代が1つのボールで絆を紡ぐ、新しいルール～



1チーム

7名、18チームで対戦!

(各世代1名ずつ参加)



小学生



中学生



20代



30～40代



50代



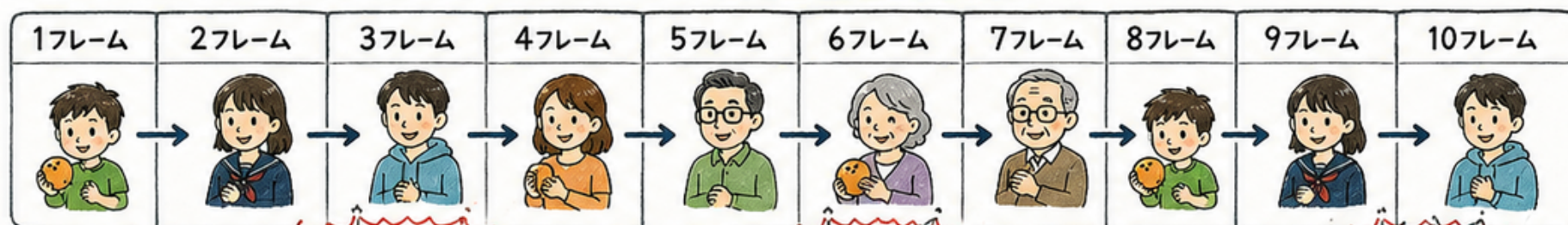
60代



70代以上

リレーの流れ

1人＝1フレームを担当します(世代順は各チームで決められます)



ここは最初からストライク!
(固定です)

ここは最初からストライク!
(固定です)

ここは最初からストライク!
(固定です)

そのチームのスコア

7フレームの合計で
順位を決定!



チームで投球順を
決めることが作戦のカギ!

3・6・9フレームは最初からストライクになっています。
その直後(4・7・10フレーム)にストライクを出せば高得点に!
どの世代をどのフレームに配置するかが、チームの作戦になります。



特別ルール

ハイタッチ義務!



ミスしてもガターでも、
投球後は全員で
称え合います。

369ゲームで公平に!

スタート時に3・6・9フレームが
ストライクになっている「369ゲーム」で、
1・2・4・5・7・8・10フレームの
合計7フレームのスコアで競います。

1 2 3 4 5 7 8 9 10
□ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □

大会の進め方

- ① 受付時に抽選で対戦相手を決定
- ② 1・2回戦: 3チームで対戦(全チーム3ゲーム)
- ③ 3回戦: 順位戦で優勝～18位を決定

所要時間: 約90分

エキシビション「1フレームマッチ」

順位戦後、各チーム代表による
1フレームの真剣勝負!

- ・くじ引きで代表世代を決定
- ・ステップラダー方式で勝ち上がり、
最後に1回戦勝ち負けチームの
代表戦を実施

所要時間: 約60分



♡ 上手い・下手じゃない! 「応援」と「協力」がスコアになる設計です! ☆

主催団体の実績と信頼性

TAMA-BASE — 多摩市最大規模の市民活動団体

16万人

累計参加市民数。
多摩市に根付く市民ネットワーク

40万人

文科省検定済教科書に掲載。
全国の中学生在が学ぶ地域再生事例

2万人

コロナ禍のオンライン文化祭
視聴者数。NHKでも報道

12%

NHK特集の視聴率。
全国発信の実績を持つ

連携・後援

多摩市 / 多摩市教育委員会 / 永山コパボウル / 各地域自治体 / 青少協・地域協働本部

大会の様子はNHKにて生中継か録画放送、YouTubeにて放送を予定。
注目度の高いイベントとして多摩市発の協創モデルを全国へ発信します。

3
年計画で、
まちを動かす

市民・産業・教育の三分野を、定期的に横断していく

第1回

2026年11月 開催

全17小学校区 対抗

市民同士の多世代のつながりを創出

第2回

2027年6月 開催予定

市内企業 対抗

地域経済と市民活動の接点を生む

第3回

2027年11月 開催予定

市内中学校 対抗

次世代の地域参画意識を育む

単発のイベントではなく、多摩市全体の協創ネットワークを段階的に構築する「まちを変える仕組み」です。

協賛企業さまのメリット

1

CSR・地域貢献

大会名称・横断幕・ポスター・等へのロゴ掲出。多摩市全域の市民と、その家族・地域へ企業名が届きます。
また多世代共生のまちづくりを支える企業として、その姿勢を発信できます。
メディア露出としてYouTube・SNS・市広報での発信。

2

採用・人材獲得

地元での知名度と「多世代に優しい会社」というイメージは、採用に直結します。
特に多摩エリアで人を採りたい企業には、地域貢献の可視化がそのまま採用ブランディングになります。

3

教育・次世代とのつながり

TAMA-BASE代表・瀧口寿彦は、市内の小中学校で学校運営委員を務め、中学校では全学年にファシリテーション授業を継続的に担当しています。教育現場と日常的につながる体制のもとで大会が運営されるため、次世代への確かな波及が見込まれます。またTAMA-BASEの活動は文部科学省検定済教科書に掲載され、全国の学校からも授業の問い合わせが寄せられる、広がりつつあるモデルです。

4

従業員エンゲージメント

健幸経営・多世代交流の受け皿として、従業員やそのご家族の大会参加も歓迎。
社内の一体感づくりにも活用いただけます。ボウリングは全世代が体を動かし楽しめる競技。
従業員の健康増進イベントとしても活用できます。

※ 具体的な掲出内容・露出媒体は、協賛企業さまとご相談のうえ決定します。

協賛プランのご案内

多摩ボウリングプロジェクトを、一緒につくる企業を募集しています。

協賛

50,000円

多摩のまちを応援する企業として

- ・ Webサイトへの企業名掲載
- ・ 会場での協賛企業紹介
- ・ 大会SNSでの紹介
- ・ 感謝状の贈呈

「応援する」ことから、地域の仲間へ。

特別協賛

500,000円

企業ブランディング映像制作付き

- ・ 企業ブランディング映像（約3分）を制作
- ・ Webサイトへの企業名掲載
- ・ 会場での特別協賛企業紹介・アナウンス
- ・ 大会SNSでの紹介
- ・ 感謝状の贈呈

地域との活動を、企業の映像資産に。

※ 掲出内容・露出媒体・映像制作内容は、協賛企業さまとご相談のうえ決定します。継続協賛・複数社での分担協賛もご相談いただけます。

特別協賛 — 御社のブランディング映像

地域協賛が、そのまま企業の映像資産になる

特別協賛プランには
3分間のブランディング映像の制作・納品が含まれます。

- ・ 採用・広報・PRなど、用途は自由にご活用いただけます
- ・ 企画・撮影・編集まで一貫して制作します
- ・ 御社の「その会社にしかない物語」を映像に
- ・ 地域貢献の実績も同時に残ります

制作は、TAMA-BASE代表・瀧口寿彦が担当します。

制作者の実績

映像作家 瀧口 寿彦

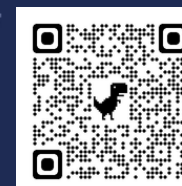
映像制作歴30年

主な制作実績

TOYOTA / Amazon / Disney / 宝くじ / JR東日本
NTT東日本 / 花王 / Panasonic / 他多数

多摩市の地域活動は文科省検定済教科書に掲載。
NHKでも複数回特集された、地域の物語を描く実績があります。

公式ホームページ



お問
い合
わせ

と一緒に、多摩のまちを 動かしませんか。

勝つことよりも、つながることを。 スコアよりも、今日生まれた会話の数を。
その一投が、まちの絆になる。

多摩ボウリングプロジェクトへのご協賛を、心よりお待ちしております。

運営団体名：TAMA-BASE

TEL：090-3960-4911

Mail：city@tama-base.com

Website：https://www.tama-base.com/



**TAMA
BASE**